育てあい、育ちあう

広報 NO７

わかば

２０２２年春号

（２０２２年３月２８日発行）

社会福祉法人わかば会

盛岡市西松園３丁目１９－６
発行責任者　鈴木浩太郎
☎：０１９－６６１－３１０３
fax：０１９－６６２－５１２１
http//www.wakaba-kai.or.jp

法人の理念

＊ 社会福祉法人わかば会は、子どもの人権を尊重し保護者と協力しながらその健やかな成長のために尽くすとともに、保護者が安心して子どもを預け働ける環境づくりに努めます。

＊ 未来の主人公となる子ども達の権利を尊重し、豊かな乳幼児期を保障することを基本とし、保護者の皆様と一緒に保育を創っていくことを大切にしてまいります。

＊ 子どもが本来持っている能力を引出し、豊かな感性を育み、一人ひとりが仲間の中でゆっくりじっくりと自分を育てていけるような保育環境づくりに努めます。

＊ 子育て支援や地域福祉の向上を目指し、地域の子育ての拠点となるよう努めます。

法人運営施設

■わかば保育園　■本宮保育園　■うえだ保育園
■北松園風の子保育園
■がんちゃんすくすく保育園
■宇宙学童クラブ　■ 第二宇宙学童クラブ

コロナに負けない！大切な命をみんなで守ろう！

この２・３年のコロナ禍で、まだことばでの伝え合いも不十分な子どもたちに、大人がマスク着用で話しかけても顔の表情は読み取れるのか。給食の時間は、３密を避けるために距離をとり一方向を見ての食事で黙食にと様変わりしました。

ベランダ登園から玄関へ、手洗い、消毒、マスク着用にも少しずつ慣れた時、オミクロン株による感染者が急拡大。近隣の小学校・保育園の休校・休園が報じられ、当保育園でも陽性者が発生し突然の臨時休園となりました。

保護者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけし本当に申し訳ありませんでした。

しかし、コロナ感染による休園で改めて職員の逞しさ、保護者の温かさを感じ、昨日までの休園がなかったかのように元気に登園してくる子どもたちの笑顔に感謝の気持ちでいっぱいになりました。お友だちとじゃれ合い「よいとさのさぁー」とトラ舞を踊る姿に涙が流れました。

コロナから見えてきたことは、子どもたちの活動には、映像ではなく自然の中で友だちと一緒に共感し、自分の手と足（こころ）を使って、遊び（学び）を発展させることが何より大事だということです。

世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵略、核兵器の先制使用も辞さないとする恐ろしい戦争が起こっています。何の罪もない子どもや市民の命が奪われる戦争のむごさに胸が痛みます。戦争は絶対にしてはいけません。「大切な命をみんなで守ろう」「人と関わり助け合っていこう」と声を大にし、子どもたちに平和な未来を受け渡したいと思います。

本宮保育園園長　帷子ルリ子

みずきだんご づくり

四色のだんごをみず木につけます　風の子保育園

わかば保育園　５歳児

岩手で行う小正月行事みずきだんご作り。五穀豊穣を祈り、子ども達が元気に健やかに暮らせますようにという願いを込めてつくりました。いつもならおじいちゃんおばあちゃん達と一緒につくるのですが、今年は子どもたちだけで作りました。

４色の団子は、赤色は桜、緑色は夏の草木、黄色は秋の紅葉、白色は冬の雪と四季を現わしています。赤色は散歩で見つけたガマズミ、緑色はほうれん草、黄色はクチナシの実で色付けをしました。

白いさらさらの上新粉・白玉粉がきれいに色づいて固まっていく様子に興味津々の子ども達。たいようさんは今までのクッキングの経験を活かし、自分たちで材料を入れ硬さ加減も調整しながら作っていました。

コロコロ丸めて出来上がり、給食さんにゆでてもらっている間、たいようさん、つばささんがこまやけん玉、お手玉など昔あそびを見せてくれ、小さい子ども達は憧れの眼差しでみていました。

だんごがゆであがり、水木の木にだんごとお飾りをつけ完成。ホールや玄関、保育室に飾りました。松園ハイツとサンタウン松園にもできあがったみずきだんごを届けました。

北松園風の子保育園

うえだ保育園　５歳児

節分 ～今年も鬼がきたぞ～

1年の始まりとされる立春前日の節分は、無病息災を祈って豆まきを行います。

今年も保育園に鬼がやってくるらしいと、子どもたちは年明けからソワソワしています。年長児は12月に博物館でスネカ（沿岸に伝わる小正月行事に出てくる鬼）を見学してから、鬼の生態に興味を持ち、図鑑等で調べながら張り子の鬼の面作りに取り組みました。

小さい子達も「本物の鬼より怖い鬼のお面をつくってやっつけよう！」と張り切ります。

2月3日当日は、年長児中心に鬼退治の準備にとりかかります。大きな鍋で炒り豆をし、鬼の嫌いな臭いを放つイワシを焼き柊につけ「ヤイカガシ」を作ります。

年長児は「鬼が入ってこないように」とヤイカガシを括り付け、作戦通りの持ち場につきます。「あっ！」小さい子たちの声が・・大きい子たちは手作りの豆を握りしめ、声のする方を見つめます。すごい形相でやってきた鬼が2匹。「鬼は～外！福は～内！」みんなで声を張り上げながら豆を投げつけ、最後まで力を合わせ鬼を外に追い出しました。怖かったけどみんなで鬼をやっつけた達成感で、子どもたちの顔にも笑顔が戻りました。

もうすぐ春がやってきます。節分を期に嫌なものはすべて吹き飛び、平和で安心できる世界になる事を願います。

うえだ保育園

鬼はやっぱりこわいなぁ～　うえだ保育園

ヤイカガシがあれば
大丈夫だから・・

鬼はそとォー　本宮保育園

がんちゃん すくすく 保育園

がんちゃんすくすく保育園は、岩手大学と岩手銀行の企業主導型保育事業として2018年3月に開園し、わかば会が約4年間保育園を受託してきました。開園当時、環境を整えるところからのスタート。定員12名の小さな園で『わかばの保育』をどう実践していこうかと毎日が試行錯誤でした。

がんちゃんの魅力は何といっても、四季を通じて大学構内の恵まれた自然環境の中で、子どもたちとたくさんの発見をし、共感し、保育を実践できることです。そして、2歳児が年長児のように小さいお友だちの憧れの存在となり、保育者と一緒に畑の収穫、りんご狩りや柿もぎにも挑戦し様々な経験ができました。

また、外国の留学生などのお子さんの入園を機にその国の文化や子育ての違いなど知ることができました。

4年間で33名の子どもたちの保育をしてきました。がんちゃんで過ごした子どもたちがこれからどこへ行っても、あそびが大好き！自然が大好き！お友だち大好き！で大きくなってくれることを願います。

0歳児：スズランテープのカーテン

植物園の池：1．2歳児

大学構内の羊さん：1歳児

大空にはばたけ！　たいようぐみ
卒園式

がんばったよ　本宮保育園

豊年太鼓　うえだ保育園

虎舞　風の子保育園

２０２１年度卒園児

わかば保育園	１９名
風の子保育園	１５名
本宮保育園	２４名
うえだ保育園	２１名

卒園式は、たいよう組にとって保育園生活最後の発表の場です。毎年、各園子ども達が輝ける発表の内容にと工夫をこらします。

しかし、今年度も終息どころかオミクロン株が猛威を振るい、わかば会でも２月中旬から３月にかけて休園を余儀なくされた園が相次ぎました。

本宮保育園でも休園中のために生活発表会が延期となり、その後、保育が再開されても今度は子ども達がそろわず、子ども達も職員もやきもきしました。

話し合いの結果、園内の動画撮影にしたのですが、年長児が「頑張っている姿をどうしてもおうちの人にみせたい」と強く望んだこともあり、卒園式で生活発表会の内容を披露することにしました。

年長児全員がそろったのは卒園式の５日前でしたが、子ども達は「虎舞」「たつのこ太郎」の劇を気持ちを込めて発表することができました。

保護者の皆さんには、大きく成長した子ども達の姿を目の前で観て頂き、共に喜び合える卒園式となりました。

私たち職員にとっても、２４人全員で晴れの日を迎えられたことを安堵し、同時に子ども達にとって、残りわずかな保育園生活を有意義なものにしたいと思います。

本宮保育園

生活発表会

黄金のかもしか　わかば保育園　５歳児

荒馬　うえだ保育園　5歳児

スーホの白い馬　本宮保育園　5歳児

今年の生活発表会は、０歳児から３歳児の劇ごっこの発表と、４～５歳児の劇・リズム運動の発表日を分け、保護者の観覧も感染症対策のため４・５歳児のみで行いました。

小さいなかまの発表は保育園の皆がお客さん。つくしんぼちゃんはいつも楽しんでいるわらべうたあそびなどかわいい姿を見せてくれました。すぎのこちゃんは毎日楽しんできた３匹のヤギのガラガラドンに大好きなオニも登場。そらさんは誕生会の職員劇から大好きになったあかずきんのお話です。ひかりさんは「１１匹のねこ」と「おしいれのぼうけん」を合わせたオリジナルの劇ごっこを発表しました。また、一年を通して「カエルの豆太」の世界で過ごしてきたつばささん。様々なアイデアを出し合いながら、元気いっぱいの劇を見せてくれました。

インドのお話「黄金のかもしか」に取り組んだたいようぐみは、全員がそろっての劇づくりがなかなかできない中、休んでいる仲間にも心を寄せ、一人二役演じるなど主体的に劇づくりに取り組みました。

リズム運動は、５歳児の保護者にのみ観ていただき４歳児の保護者には事前に録画したものを見ていただきました。

本来であれば会場で保護者の皆さんに観ていただき、温かい拍手をいただきたかったのですがかないませんでした。一日も早い「日常」が訪れますように願うばかりです。

わかば保育園

宇宙学童クラブ

今年度は、冬休み明けからオミクロン株の流行により学校別の生活をしてきました。一日も早くこの状態が収まり、皆で自由に遊べることを願う毎日です。

冬休みは、低学年は子ども科学館、高学年はスケートに行くことができました。子どもたちは、寒い寒いと外へいくことに躊躇しがちですが、コロナ禍だからこそ屋外での活動を大切にしてきました。

学校の校庭でソリ遊びや凧あげをし、雪遊びをたくさん楽しみました。室内ではけん玉です。とめけんや飛行機などの技ができるようになるとますます夢中に。そして、新たな技にも挑戦しています。

春が近づき６名の６年生が卒所していきます。４月には１１名の新入所を迎えることになりそうです。

新しい仲間を迎えて元気にかけまわりみんなが笑顔でいられる学童をめざしていきたいと思います。

住所　西松園3-18-12
☎　６６２－１１１３

わかば会の動き

※第１７１回理事会(令和３年１２月１０日開催)より

企業主導型保育事業の岩手大学・岩手銀行保育所(がんちゃんすくすく保育園)は、平成２９年度(平成３０年３月)から５年間にわたってわかば会が運営してきましたが、次期公募に申請しないことが承認されました。

この間、わかば会がめざす保育をと努力してきましたが、毎年赤字が見込まれる中、公益事業であるわかば会としては赤字を補てんする術がないことなどが主な理由です。

岩手大学は、無認可施設の時代から関わっていただいたこともあり、このたびの決定は大変残念です。

※２０２１年度キャリアアップ研修終了

昨年度はコロナ禍で実施できませんでしたが、今年度は８名の職員が受講しました。

※コロナ対策について

オミクロン株の急拡大により以前にも増して、園内での感染防止対策の強化と職員には不要不急の外出を控えることなど対策に努めてきました。しかし、防ぎきれず２~3月には当法人でも職員や園児が感染し休園せざるを得ない事態になりました。

保護者の皆様には多大なご負担をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。

引き続き感染防止へ万全の体制をとって参ります。

※４０周年記念誌発行

法人創立40周年記念事業として計画していました記念誌が完成しました。

ご希望の方は保育園に申し出てください（有償）。

保育所における２５年問題とは

中山　徹　奈良女子大学教

オンラインによる第４１回民間保育園経営研究セミナーが、１月１０~１１日の２日間の日程で開催されわかば会からは、理事長、各園長、常務理事が参加しました。

特に関心の高かった中山徹奈良女子大学教授による「２５年問題について」紹介します。

○保育所における２５年問題とは

この数年間で出生数が２０万人近くも減少し、コロナの影響もあり２０２１年は更に減少傾向が深刻で、小子化の進展が７~８年早く進むと予想されています。

０~２歳児で発生している待機児童問題が２０２２年頃にはほぼ解消。２０２５年までには、保育所利用者が減少するという未だ経験したことがない事態が目前にせまっており、今後、保育所はどのような方向を展望すべきかが問われていると指摘しました。

○２０２５年問題にどう対処すべきか

２０１０年代は、ひたすら保育の受け皿拡大で「保育の質を犠牲にした量の拡大」が進められたが、２０２０年代は、公立施設の統廃合・拠点化が更に進み、地方自治体は通常保育に直接責任を負わない「質を改善せず量の縮小」へと進むと指摘。これらへの対応が急がれているとしました。

政府がねらう統廃合と公的保育制度の解体を許さず私立保育所は、子どもの確保競争に走るのではなく、利用者の減少を最低基準の改善、労働条件の改善、子育て環境の改善をすすめる好機にすべきと強調しました。

＊現状の保育予算を確保すれば追加の負担なしで改善可能に
保育士一人あたりの受け持ち児童数(例として)
利用者１５%減れば　３０：1が２５：1に
利用者３０%減れば　３０：1が２０：1に
＊国が進める統廃合は、利用者が減っても基準を改善せず、財政負担を削減する考え

給食室　保育園でつくる郷土料理　うす焼き

材料（４枚分）

小麦粉	１００g
水	２００cc
かつお節	3g
紅しょうが	少々
青のり	少々
塩	1．2g
醤油	適宜
油	適宜

作り方

①小麦粉と水を混ぜる。
②①にかつお節と紅しょうが（みじん切り）青のり、塩を入れてよく混ぜる。
③熱したフライパンに油を薄くひき②をお玉一杯分入れクレープのように薄く広げる。
④火が通り始めたら一度ひっくり返し焼く。
⑤④に刷毛でしょうゆを塗りフライ返しでくるくる巻き食べやすい大きさに切る。

シリーズ　わかばの保育⑥

子どもの全面発達をめざし、ピアノの音に合わせ走り、跳び、全身を動かすリズム運動について2回シリーズで紹介します。

①リズム運動とは

リズム運動は「さくらさくらんぼ保育園（北埼玉市）」で４０年程前につくられたものです。どの子も人間として発達の可能性をもっているとの考え方の下、生物進化発展の法則に則して創られたのがリズム運動です。

②リズム運動はなぜ大切か

子ども達の日常生活で身体や手足を使う機会が極端に少なくなっています。手が不器用な子、姿勢の悪い子、土踏まずが未完成な子、手をつかないまま転倒する子が増えています。姿勢が悪いことは発達の上で様々な問題や障害を生じることと関係しているとされ、大脳の活動が深く関係していると言われています。

子どもたちが「直立姿勢」ができないことは大きな問題であり、保育所として対応すべき重要な課題としてとらえ、こられの解決策の一つがリズム運動です。

③リズム運動は発達を促す

人類は、何百万年の歴史を経て猿から人間へと進化してきました。直立二足歩行を獲得し手が解放された結果、手の動きは脳の発達を促しました。真に人間として育ち成長するための保育を進める上でリズム運動はとても大切で役立ちます。

特に、人間の脳は乳幼児期に最も発達し、五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）を通して刺激を受けることで豊かに発達します。

優れたプログラム(内容)で構成するリズム運動をすることで、子どもたちは変化し生き生きとしてきます。

④リズム運動はどのように行うか

運動機能をバランスよく発達させるために、動きも子どもたちの発達の道すじにそって生物の進化の過程をたどり、魚類、両生類(カエル)、爬虫類(ワニ)などの動作を取り入れています。

５０種類以上のリズムがありますが、３つの基本原型(律動、自由表現と集団遊び、リトミック、音楽と動きを融合させた教育スタイル)から構成されています。

まず、リズム運動を日課の一つに位置付け、子どもも保育士も楽しく取り組むことが大切です。リズム運動で育てたいことは、基本となる身体の力です。

（わかばの保育より抜粋）

あとがき

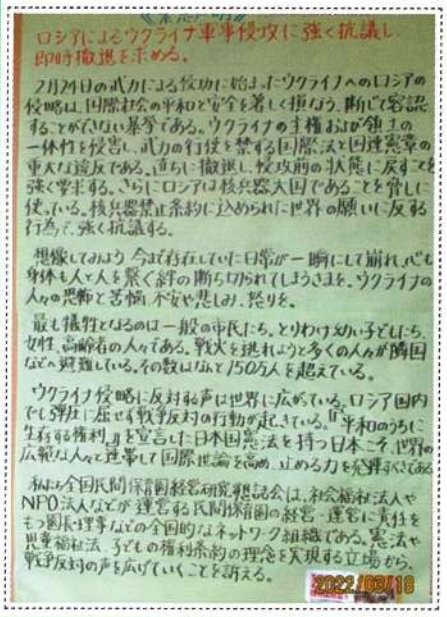
３月は別れと出会いの季節。各保育園では子どもたちの巣立ちを祝い、成長を喜ぶ卒園式が執り行われました。今年の卒園式は、コロナ感染症の急拡大で子どもたちはマスク着用の完全防備です。

生活発表会（二部）での豊年太鼓も虎舞もうたもマスク姿で、子どもたちの表情が見えず残念でした。わかばの歴史に残る一幕として記憶に残しておきたい出来事です。

連日、ロシア軍によるウクライナ侵略の実態が報道されています。

何の罪もない子どもや市民が殺傷され、突然日常生活が奪われた難民の姿と戦争のむごさに胸が締めつけられます。

わかば保育園の玄関前に全国経営懇が発表した「ロシアによるウクライナ軍事侵攻に強く抗議し即時撤退を求める」とした緊急声明全文（左写真）が掲示されました。


ロシアによるウクライナ軍事侵攻に強く抗議し
即時撤退を求める。

２月24日の武力による攻撃に始まったウクライナへのロシアの侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう、断じて容認することができない暴挙である。ウクライナの主権および領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法と国連憲章の重大な違反である。直ちに撤退し、侵攻前の状態に戻すことを強く要求する。さらにロシアは核兵器大国であることを背景に使用している核兵器禁止条約に込められた世界の願いに反する行為を強く抗議する。

想像してみよう 今まで存在していた日常が一瞬にして崩れ去り身体も人々を繋ぐ絆の断ち切られてしまうことを。ウクライナの人々の悲鳴と苦悩、不安や悲しみ、怒りを。

最も犠牲となるのは一般の市民たち。とりわけ幼い子どもたち、女性、高齢者の人々である。戦火を逃れようと多くの人々が隣国などへ避難している。その数はなんと150万人を超えている。

ウクライナ侵略に反対の声は世界に広がっている。ロシア国内でも弾圧に屈せず戦争反対の行動が起きている。『平和のうちに生存する権利』を宣言した日本国憲法を持つ日本こそ、世界の広範な人々と連帯して国際世論を高め、止める力を発揮すべきである。

私たち全国民間保育園経営研究懇話会は、社会福祉法人やNPO法人などが運営する民間保育園の経営・運営に責任をもつ園長・理事などの全国的なネットワーク組織である。憲法や児童福祉法、子どもの権利条約の理念を実現する立場から、戦争反対の声を広げていくことを訴える。

2022.03.10

（礼）